

# 「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく 高津川流域の減災に係る取組について

平成29年5月30日

高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

〔 益田市、島根県、松江地方気象台、  
国土交通省中国地方整備局 〕

1. 減災のための目標・実施方針

2. 平成28年度の実施状況（フォローアップ等含む）

3. 平成29年度の実施予定

4. 今後のスケジュール（案）

## 1. 減災のための目標・実施方針

# 減災のための目標

## ■5年間で達成すべき目標

急激な水位上昇などの河川特性や氾濫水が広範囲に広がる平野部等の氾濫特性などを踏まえ、発生しうる大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。

※大規模氾濫……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れた状態

## ■目標達成に向けた3本柱の取組

目標達成に向け以下の取組を実施。

- ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組
- ② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動
- ③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

# 概ね5年で実施する取組

## ①迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

### ■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進

- ・高津川改修

### ■避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

### ■想定最大規模降雨における浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等

- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し
- ・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人等を対象とした避難情報の提供
- ・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討
- ・高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施
- ・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付

### ■多様な防災活動を含むタイムラインの作成

- ・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充
- ・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練の実施

### ■防災教育や防災知識の普及

- ・高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開
- ・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知
- ・小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実
- ・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施
- ・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信

# 概ね5年で実施する取組

## ② 氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

### ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)

### ■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- ・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ・高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施
- ・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施
- ・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認
- ・市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定
- ・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

## ③ 浸水を一日も早く解消するための排水対策

### ■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備

- ・高津川改修(再掲)
- ・樋門等の修繕計画を作成し、計画的に予算を確保し修繕を実施

### ■ 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- ・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成
- ・排水計画に基づく排水訓練の実施

## 2. ①平成28年度の実施状況

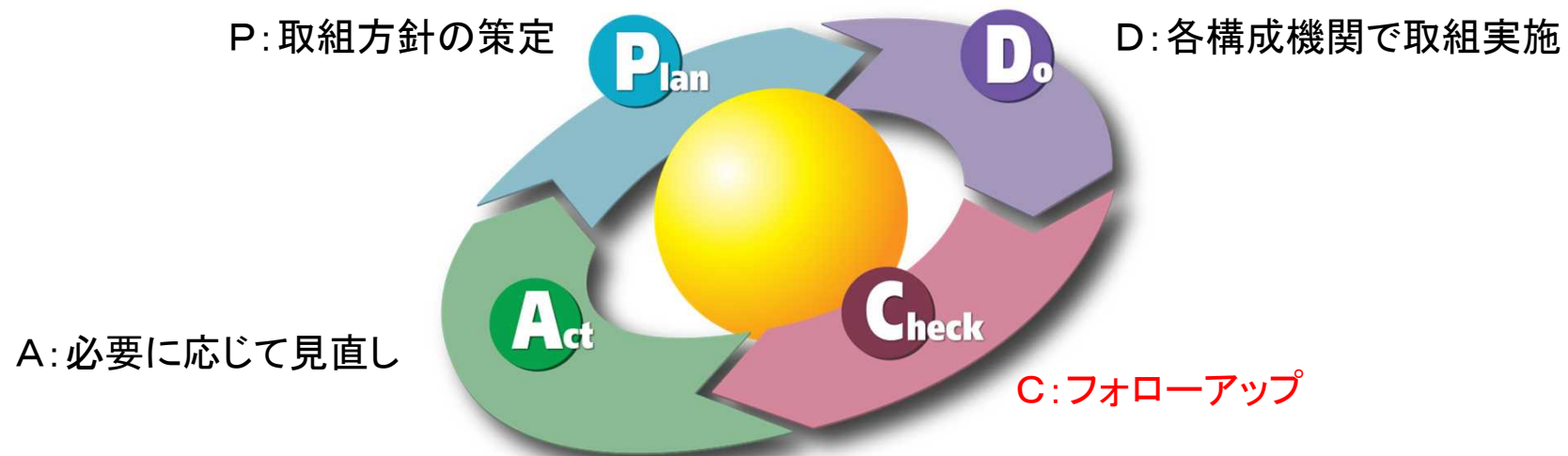
# ・ フォローアップ

各構成機関の取組内容については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画等に反映することによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に実施することとする。

今後、毎年出水期前に協議会を開催し、各取組に対する進捗状況を確認するとともに、必要に応じて取組方針の見直しを行う。

また、実施した取組についても訓練・防災教育等を通じて習熟、改善を図るなど、継続的にフォローアップを行うこととする。

なお、全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集した上で、随時、取組方針を見直すこととする。





# 平成28年度の取組経過報告(平成29年度協議会開催まで)

平成28年 4月28日 準備会

平成28年 7月13日 平成28年度協議会  
(第1回)

... 規約(案)の確認、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組、現状の水害リスク情報や取組状況の共有、減災の為の目標(案)、今後の進め方(案)

平成28年 7月22日 平成28年度担当者会議  
(第1回)

平成28年 8月25日 平成28年度担当者会議  
(第2回)

平成28年 9月16日 平成28年度幹事会

... 高津川流域の減災に係る取組方針(案)の確認等

平成28年 9月28日 平成28年度協議会  
(第2回)

... 高津川流域の減災に係る取組方針(案)

平成28年12月15日 平成28年度担当者会議  
(第3回)

平成29年 5月10日 平成29年度幹事会

... 平成28年度の実施状況、平成29年度実施予定等

平成29年 5月30日 平成29年度協議会

... 平成28年度の実施状況、平成29年度実施予定

# ○. 第1回 高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」開催概要

## 【概要】

昨年9月に発生した関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、高津川水系においても、「水防災意識社会」の再構築に向けて、益田市、島根県、松江地方気象台、国からなる協議会を設立した。

## 【決定事項】

5年間で達成すべき目標

「急激な水位上昇などの河川特性や氾濫水が広範囲に広がる平野部等の氾濫特性などを踏まえ、発生しうる大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。」

## 【主な発言】

・益田市長：高津川は水質が良く美しい川である一方、災害も多く被害が下流部に集中する。気象を観察しながら早め早めの対応をし、被害を最小限にする減災が重要となる。本協議会は意義深いものと考えており、各機関と意見交換をしながら最適な方法を考えていきたい。

開催日：平成28年7月13日(水)

場所：益田市立市民学習センター

参加機関：益田市、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所



高津川水系減災対策協議会の状況

## 水害防ぐ態勢づくりを

### 斐伊川など3流域 対策協議設立

昨年9月の関東・東北豪雨を受け、国土交通省が2020年度までに減災対策の推進を目指して策定した計画に基づき、県内の3河川の流域で、関係機関が減災対策協議会を相次いで設立した。国交省が発表した新たな洪水浸水想定を念頭に、水防や避難態勢の再構築に取り組み始めた。

斐伊川水系の中海沿岸では、島根、鳥取両県や松江市、鳥取県米子市、国交省などが20日、協議会を設立し、松江市で初会合を開催。松江市の松浦正敬市長ら約30人が出席した。

国交省出雲河川事務所は、中海周辺は低平地が広がるため、一度氾濫すると浸水被害が長期間にわたることを踏まえて避難計画を作る必要があると説明し、

六道湖に流入する斐伊川水系では、出雲市や雲南市などが2月に協議会を設け、今月2日の会合でハザードマップの見直しなどを決めた。

一方、高津川水系では、益田市と国交省などが13日、協議会を設立。20年度をめどに「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」の態勢づくりを目指す。新たな洪水浸水想定を踏まえ、ハザードマップを見直すことと決めた。

浜田河川国道事務所によると、高津川は最大の支流の西見川が下流域、合流しているため、急激に水位が上昇する特徴がある。初会合で同事務所の森崎宏幸所長は「ソフト対策で被害を最小限に食い止める必要が

ある。各機関の取り組みを情報共有し、ハード対策とソフト対策を一体的に進めたいと話した。8月下旬以降の次回会合で、具体的な取り組み方針をまとめる。江の川流域では、江津市や同事務所などが今月4日に協議会を設立し、山間部に多くの小集落が点在することを考慮し、関係機関が連携して水害に強い地域づくりを目指すことを確認した。

平成28年7月21日  
読売新聞

# ○. 第2回 高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」開催概要

## 【概要】

7月13日に第1回協議会を開催し、設立主旨、規約、5年間で達成すべき目標「急激な水位上昇などの河川特性や氾濫水が広範囲に広がる平野部等の氾濫特性などを踏まえ、発生しうる大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す。」、目標達成に向けた3本柱の取組について賛同を頂いた。

今回は協議会規約第4条に基づき作成した、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく高津川流域の減災に係る取組方針(案)についての審議を行った。

## 【決定事項】

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく高津川流域の減災に係る取組方針

## 【主な発言】

・益田市長:定住外国人等を対象とした避難情報の提供については、益田市が主体となって行うべきものであるが、市単独では対応しきれない点があるので、国や県もぜひ協力を頂きたい。

・事務局:ご指摘の項目に限らず、取組主体は記載のとおりであるが、協議会として各構成員が協力しながら実施していく。

開催日:平成28年9月28日(水)

場所:益田市役所3階大会議室

参加機関:益田市、島根県、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

## 【益田市長コメント】

・避難計画を今後、必要に応じて見直していく必要があると考えていますし、住民に対する周知、それからいざ起こった時の素早い対応、これに対する準備をしっかりと行っていく必要があると思っています。



第2回高津川水系減災対策協議会の状況



平成28年9月28日 18:11～  
NHK松江放送局「しまねっとNEWS610」

## 2. ②平成28年度の実施状況(代表例の紹介)

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 防災教育や防災知識の普及

○ 「川の防災情報」 や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知

【益田市、中国地整】

## 益田市

- ・6月6日に須子町の明見自主防災組織の避難訓練に参加して説明した。
- ・6月8日に高津川支流の梅月地区の会合で説明した。
- ・6月12日に県LP月協会と炊き出し訓練を水防センターで実施し、参加者に説明した。
- ・7月3日に中島自主防災組織の避難訓練が水防センターで実施されに参加して説明した。
- ・10月30日に聴覚障害者を対象にして防災対策について説明した。
- ・1月21日に災害伝承10年プロジェクト講演会を開催し説明した。
- ・3月20日保育研究会が実施する親子ふれあい行事に参加して説明した。

## 国土交通省

平成28年6月9日の水防連絡会にて関係機関の方々へ説明。



【説明状況 (H28.6.6益田市明見地区)】



【NHKデータ表示例】

※今後も、継続して周知を行う予定。

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 防災教育や防災知識の普及

○小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実  
【益田市】

5月6日に吉田小学校の4年生児童(96人)を対象に実施した



【防災教育実施状況(H28.5.6益田市)】

※今後も、継続して水害教育の普及・充実を図る予定。

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認

【益田市、島根県、中国地整】

○樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

【益田市、島根県、中国地整】

- ・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法など、出水期に係る対応等について情報共有・確認する事を目的として「水防連絡会」をはじめとした会議を実施。
- ・樋門操作に関する人員の確保と操作に関する説明会の実施



【水防連絡会実施状況】



【樋門操作説明会状況(益田市)】

※継続して確認・情報共有等を実施予定。

## 2. ③平成28年度の実施状況(課題・改善点等)



# H28の振り返り(現状、課題)

## ○ 現状

- ・既存の取り組みで実施しても限界があった。
  - 訓練時期が秋、訓練場所が沿川地区ではない ⇒ 広義の観点では、実施している
  - 前年度に内容が決まっており、方向転換が難しい
  - 調整したが、結果として開催できない 等
- ・単独で実施する事が難しいものもあった。
  - 予算、マンパワー等で問題がある 等
- ・各機関毎で実施するため、(場所・団体等)重複する。
  - 調整の結果、場所や団体等が同じとなり偏ってしまう
  - ⇒ 調整時間が少ないと、了解を頂くために時間がかかり、結果として同じ団体等になる 等
- ・策定初年度で実施にあたり、手探りの部分が多かった。
  - 担当者会議等を複数回開催しているが、内容をイメージができない 等
- ・目標達成のために負担となる部分もあった。
  - 前年度に内容が決まっており、方向転換が難しい
  - 時間が少ないため、調整が出来なかった 等

## ● 課題

- ①各機関で実施すると、負担となる。
  - 同じ事を何回も実施すると、国 ⇒ 県 ⇒ 市 ⇒ 地域の方等、の順で負担が増える。
  - 単独開催が難しい内容もある。(例:企業独自の防災組織でなく、地域の防災組織に属する 等)
  - 調整には時間を要する。
- ②各機関毎で実施するため、非効率となっている部分がある。
- ③策定初年度で手探りの部分が多かった。

# H29以降の実施に向けて(改善点)

H28を振り返り、

- 各機関は、5年間の目標(大規模氾濫時において、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す)については、重要と認識。
- しかしながら、実施にあたり、現状として課題や問題点もある。



一方で、今後、県管理河川の協議会が設立。取組内容の重複が予想されるため、更なる負担増に繋がるという不安材料もある。



そのためには、各機関が連携し、目標達成に向け継続できる環境づくりが重要。



- 各機関が目標達成に向け、(H29の改善点等として)
  - 1)各機関が定期的に進捗状況や動向等、情報共有の強化を図る。
  - 2)各機関と調整して効率化を図り、継続できる体制づくりを行う。
  - 3)地域状況に応じた取組内容とする。

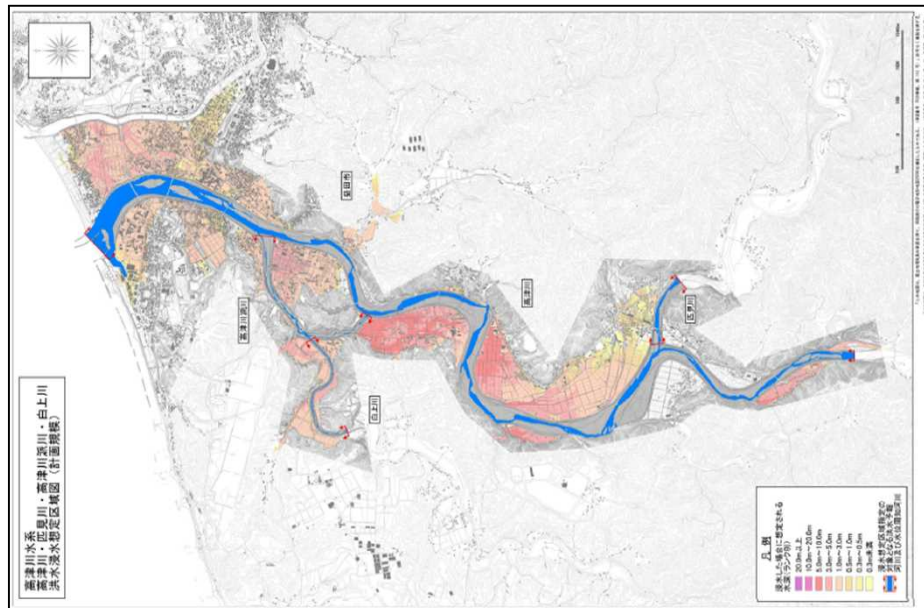
### 3. 平成29年度の実施予定

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組

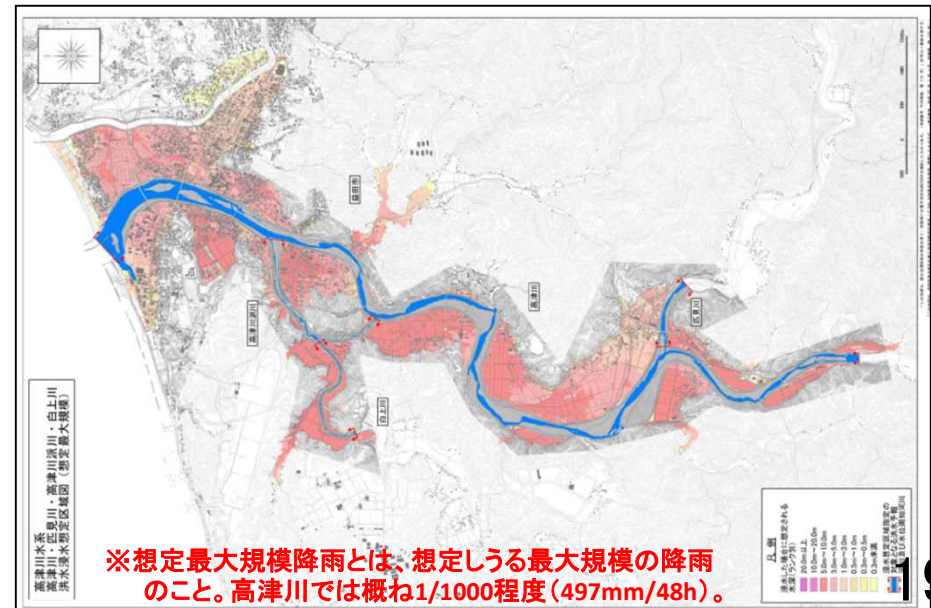
## 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく ハザードマップの作成・周知等

- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表 【H28年から検討実施: 島根県】
- 洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供 【H29年度から順次実施: 益田市】
- 高津川の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施 【H29年度から定期的実施: 協議会全体】
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し 【H30年度: 益田市】
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し 【H30年度: 益田市】
- 夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導體制の検討 【H30年度: 益田市】
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付 【H31年度: 益田市】

計画規模降雨の洪水浸水想定区域図



想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図

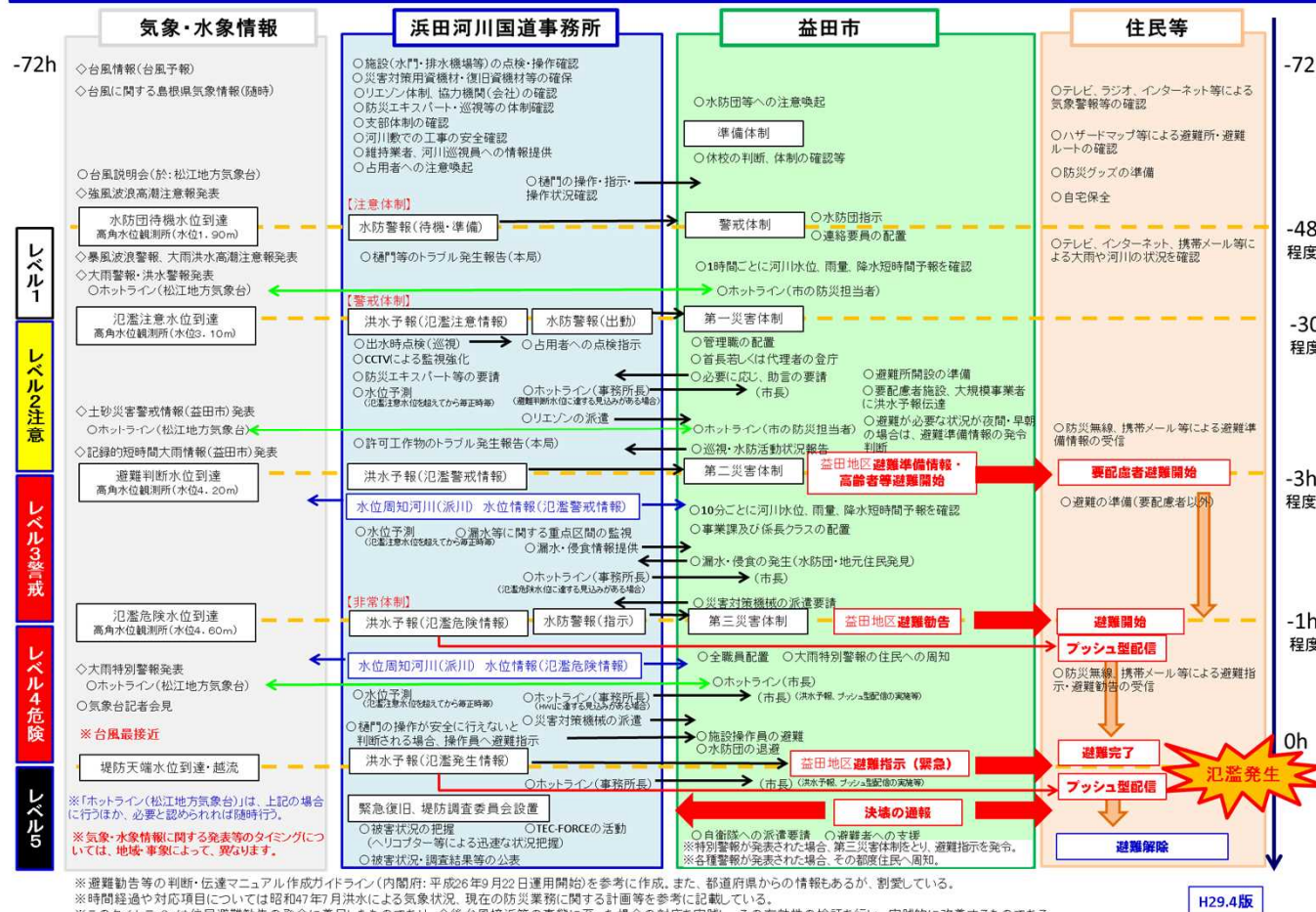


# ①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 多様な防災活動を含むタイムラインの作成

○避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練の実施  
【益田市、島根県、気象台中国地整】

高津川(高角、神田)、匹見川(横田)、白上川(内田)においてタイムラインを平成28年度末までに作成。

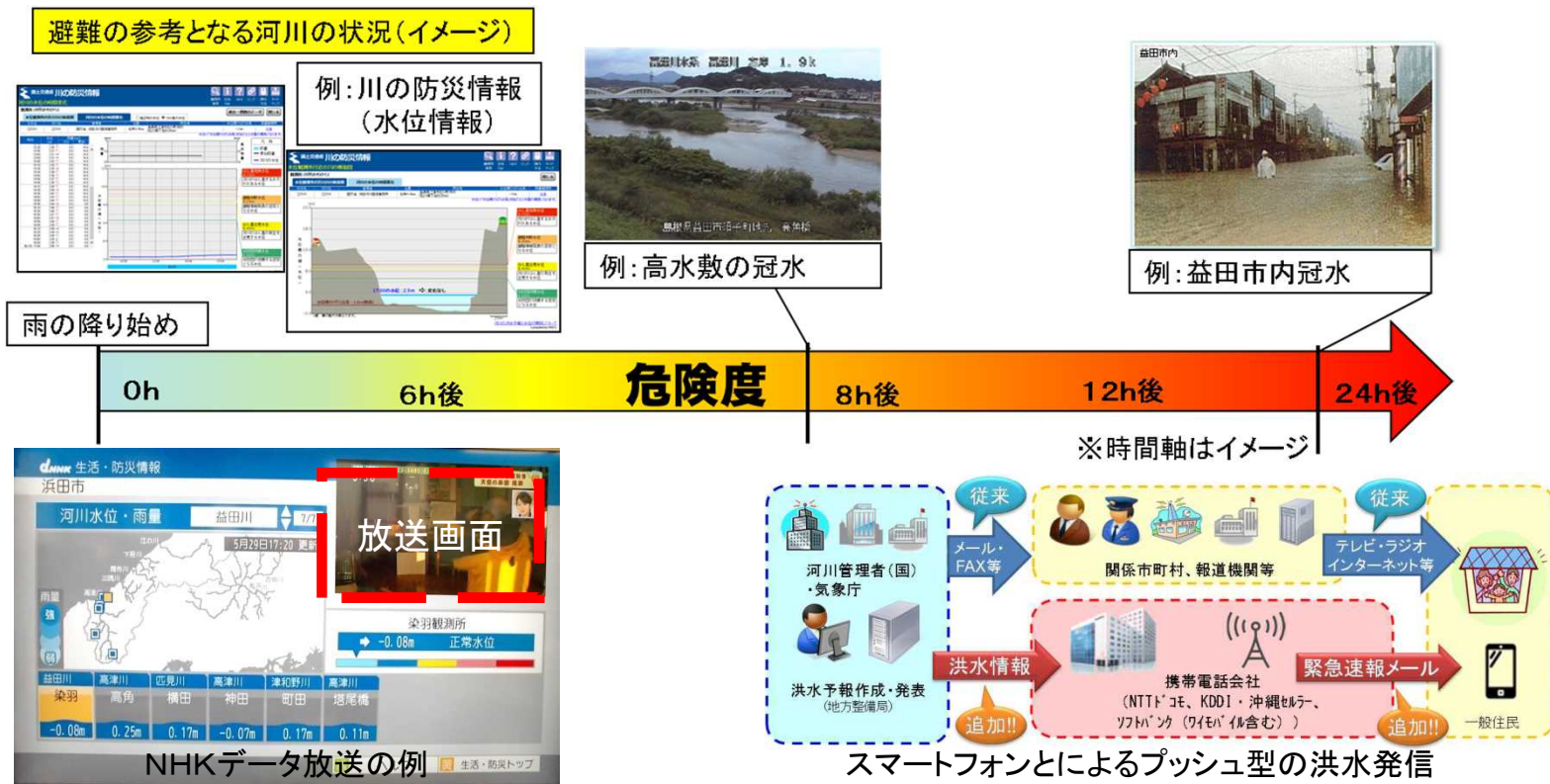
台風の接近・上陸に伴う洪水(前線による洪水)を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の  
避難勧告の発令等に着目した**タイムライン(防災行動計画)**(案)【記録検証用】



※平成29年度からは、出水や訓練等で活用し、必要に応じて見直しを行う予定。

# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組 防災教育や防災知識の普及

- 「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知  
【H28年度から定期的に実施中：中国地整】
- 高津川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開  
【H29年度：中国地整】
- 小中学校などと連携した高津川水系の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の普及・充実  
【H29年度から順次実施：協議会全体】
- 住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施  
【H29年度から定期的に実施：協議会全体】
- スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信  
【H29年度：中国地整】



# ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動を行うための取組【速報】

## 防災教育や防災知識の普及

○スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信

【中国地整】

緊急速報メールを活用した洪水情報の配信を平成29年5月1日より開始。  
6月11日(日)、明見地区自主防災組織避難訓練にて、テスト配信(予定)

### 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成29年5月1日から、配信対象を国管理河川63水系にエリア拡大します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川(鬼怒川、肱川)の沿川市町村(茨城県常総市、愛媛県大洲市)において緊急速報メールを活用した洪水情報※1のプッシュ型配信※2に取り組んでいます。

平成29年5月1日から、国管理河川109水系のうち自治体や携帯電話事業者との調整等が整った63水系に配信対象をエリア拡大します。配信対象は、今後も順次拡大していきます。

※1 「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

※2 「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。



### 洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

高津川水系では、高津川:高角(益田市)、神田(益田市)、匹見川:横田(益田市)にて配信

### 緊急速報メールの配信タイミング



イメージ : 配信タイミング②の場合



(件名) 河川氾濫発生  
(本文) 高津川の●●市●●付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。  
(国土交通省)

## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動 水防活動の効率化及び水防体制の強化

- 消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保  
【H28年度から定期的の実施中:益田市】
- 高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施  
【H28年度から定期的の実施中:益田市、中国地整】
- 備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における広域的な相互支援方法の確認  
【H28年度から定期的の実施中:益田市、島根県、中国地整】
- 市庁舎の水害時における対応について、業務継続計画を策定  
【平成28年度:益田市】
- 樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施  
【H28年度から定期的の実施中:益田市、中国地整】
- 水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施  
【平成29年度から定期的の実施:協議会全体】

【益田市内田・市原地区での共同点検の実施状況(H27.12)】



消防団員と兼任する水防団員、住民との共同点検の実施



【樋門操作説明会状況(H26.5益田市)】



樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施



## ②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動【速報】

### 水防活動の効率化及び水防体制の強化

○高津川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施 【益田市、中国地整】

○樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施

【益田市、中国地整】

高津川沿川の消防団、益田市の方と、出水期前の堤防点検と安全利用点検を共同で実施しました。

実施日：平成29年4月24日（月）

点検箇所：高津川直轄管理区間

参加者：地元消防団、益田市、国土交通省の担当者など19名

実施内容：①危険箇所の現地点検

樋門操作に関する人員の確保と操作に関する説明会を実施予定。

●実施日

平成29年5月26日（金）：益田市



消防団員と兼任する水防団員との共同点検の実施

### ③浸水を一日も早く解消するための排水対策 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

- 排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成  
【H30年度:益田市、島根県、中国地整】
- 排水計画に基づく排水訓練の実施 【H31年度から定期的に実施:益田市、島根県、中国地整】

排水ポンプ車排水訓練状況  
(平成28年6月、高津川左岸(益田市高津町))



排水ポンプ車運転状況  
(平成25年7月出水、南田川水門付近)

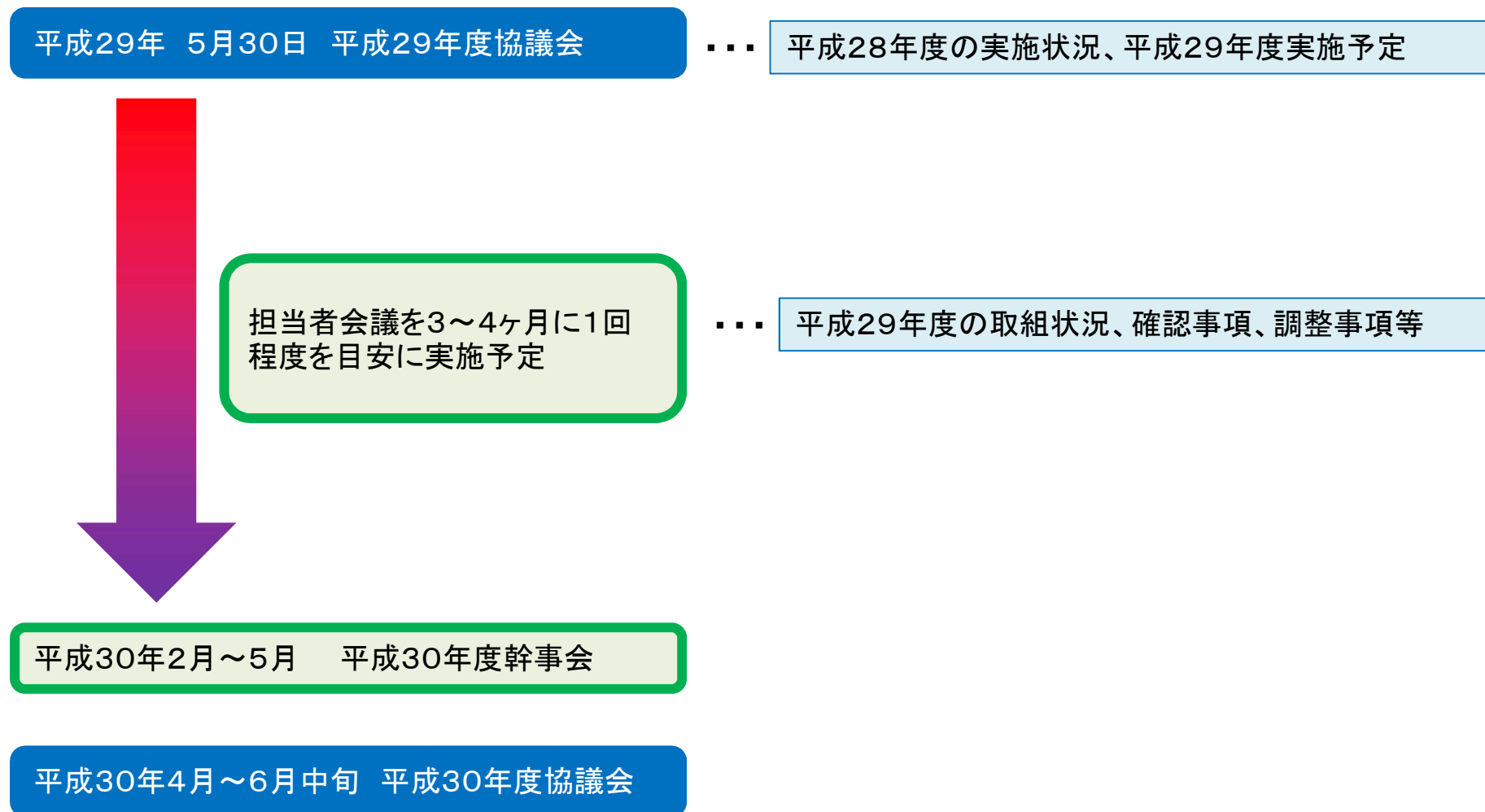


排水施設の情報提供、ポンプ車の的確な設置場所・ルート、必要な排水量(台数)、浸水エリア等の基礎的情報の入手方法を事前に計画し、緊急時の早急な対応を可能にする

※排水計画(案)が策定されるまでは、排水ポンプ車を用いた排水訓練を6月7日に実施予定。

## 4. 今後のスケジュール(案)

# 今後のスケジュール(案) (平成30年度協議会開催まで)



※スケジュール(案)は一般的なものであり、状況に応じて協議会等の追加開催や日程変更もある。